

成牛型牛白血病



★牛白血病とは？

牛白血病には、成牛型(流行型、地方病型)、子牛型、胸腺型、皮膚型に分類され、成牛型は潜伏期が長く、3歳以上の成牛で多発します。

成牛型牛白血病は、牛にみられる白血球のがんの一種で、がん化したリンパ組織が増殖し、体の各所に転移します。転移により、その臓器や組織に障害が生じ、さまざまな臨床症状が発現します。

★原因

牛白血病ウイルスが原因で、吸血昆虫(アブ)や人為的原因(直腸検査手袋や注射器の連続使用等)による水平感染と感染母牛の初乳を給与することによる親子感染が考えられています。

◎食肉検査で発見されたら？

牛白血病と診断された場合、**とさつ・解体禁止**または**全部廃棄**となります。

★症状

がん化している部位や臓器によって症状は多様です。

特徴的な症状は、体表リンパ節の腫大や直腸検査で骨盤腔内に腫瘤確認などで、進行例では眼球突出や起立困難等もみられます。一般症状では食欲不振、発熱、下痢、粘膜の貧血などがみられます。



枝肉；右肩部にクルミ大の腫瘍が多数発生しています。



腸；腸間膜や腸表面にクルミ大の腫瘍が多数発生しています。

◆ 予防・対策

抗体検査で陽性と判定された牛は、症状を呈していなくても隔離飼育し、本症と確定診断された病牛は淘汰します。

また、本症は血液を介して感染する感染症のため、注射器や直腸検査手袋等の連続使用や不適切な使用は避ける必要があります。

なお、予防・対策については、北海道網走家畜保健衛生所
(TEL 0157-36-0725 FAX 0157-36-5801) へお問い合わせください

リーフレットの内容に関するお問い合わせは下記までご連絡ください。

北海道東藻琴食肉衛生検査所

TEL 0152-66-2001 FAX 0152-66-3576

E-Mail : abashiriho.higashi1@pref.hokkaido.lg.jp

(迷惑メール防止のため「@」を全角にしています。メールを送る際は、半角に置き換えてください)